

発 言 通 告 書

発言者氏名	上地 克明
発言の会議	平成21年 9月 8日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
答弁を求める者	市長

【件名及び発言の要旨】

1 「悪しき官僚文化」への批判について

- (1) 自分が反対だったからといって、さも議会内で多くが反対し、それを押し切って行ったように取られかねない市長の表現は、誤解を生むものと思われるが、どのように考えているのか。
- (2) マニフェストにおける市長と議会との関係を「市長はエンジンで、議会はハンドルであると思う」と述べていたが、所信表明では、市長みずからが方向性を定める「ハンドル」であり、議会は「アクセル・ブレーキ・変速機」であると言いかえている市長の見解について。
- (3) 市役所の職員に対する表現や姿勢について
 - ア 悪しき官僚主義の原因が、組織・人事説から首長責任説に変わったことについて
 - イ 官僚主義が原因で横須賀から人々が離れていってしまうことが予想されるという発言について、科学的調査による事実確認なのか、単なる市長の認識であるのか。また、すべてを行政の責任に帰する考え方は、健全な民主主義の発展を阻害するものであると考えるが、市長の見解はどうか。

2 市長の社会観・人間観について

- (1) 横須賀の文化が「半島文化」「谷戸文化」に特徴づけられるということについて、市長や横須賀にとって、どのような意味や価値を持つのか不明瞭であるが、何が言いたいのか。
- (2) 市長は「半島文化」「谷戸文化」と横須賀製鉄所建設と結びつけて考えている。中世から地理的条件に恵まれ、政治的重要性を大きく持った横須賀だからこそ、製鉄所が開設されたのであり、「半島文化」「谷戸文化」とは別問題と考えるが、どのような認識からの考えか。

3 財政危機に対する認識について

(1) 財政の立て直しについて

- ア 経常収支比率の改善について、具体的には現在の義務的経費である人件費・公債費・扶助費をそれぞれどの程度削減し、経常収支比率をどの程度にするつもりなのか。
- イ 公債費の圧縮について、どのくらいの金額に圧縮するのか、また、その実現のためにどのような活動を行うのか。
- ウ 下水道関連の企業債償還に向けた財源確保の手法検討について、具体的にはどのようなことを考えているのか。
- エ 市長はマニフェストの中で、「土地開発公社など役目を終えたと考えられる外郭団体については、見直しを進める」と言っているが、具体的にはどのように見直しを進める予定か。

4 マニフェストの進行状況について

(1) 市長の運転手つき公用車の廃止について

- ア マニフェストにおいて、市長・副市長の運転手つき公用車の維持費、人件費などに約3,100万円かかっていると述べているが、その内訳について。
- イ 今回廃止を行ったことで、経費は今年度どのくらい削減されたのか。

ウ 来年度は約3,100万円は確実に削減されなければならないと考えるが、どのように考えているか。

- (2) 45項目の「既存事業を充実させて継続実施」について、単なる継続実施も含まれると認識しているが、それでは、「継続実施については原則マニフェストには掲げない」という市長の公約に既に反していると思われる。市長はどのように考えているか。

5 本市における在日米軍基地の存在と安全保障問題について

- (1) 市長は市民の代表として全国基地協議会のメンバーに就任する予定と伺っているが、提供施設を抱える本市として、どのような問題意識を持って協議会に臨み、どのような基地政策を実現するのか。
- (2) 周辺事態法第9条1項の「市長の権限の行使」について、市長の権限の行使が市民の権利を制限する場合には、日米地位協定2条(提供区域)と市長の拒否権行使との関係では、どのような立場をとるのか。

6 原子力空母の横須賀港への入港について

- (1) 補給のための原子力空母の入港における今後のスタンスについて
- (2) 原子力空母の原子力推進機関以外の軽微な緊急艦船修理については、艦船の安全航行上必要不可欠と考えるが、市長はどのように考えているか。

7 基地との情報共有体制について

- (1) 「これまで以上」という表現を用いている迅速な情報共有体制とはどのようなものなのか。

8 医療問題について

- (1) 緩和医療の取り組みについて、市長はどのように考えているのか。
- (2) 終末期を迎えるがん患者の多くが、地域や家庭への回帰を望んでいる実情がある。これを保障するには、医療における病院と開業医の連携、薬剤師、訪問介護、さらには治療より地域、家庭の支援体制が不可欠であり、地域福祉とコラボする面的医療の充実が急がれると考えるが、どのように考えるか。
- (3) 所信表明にもマニフェストにも特別養護老人ホーム待機者解消の記述がないが、介護問題に対してどのように対処していくのか。

9 「水と緑に親しめるまちよこすか」について

- (1) 「自然は近くにあるけれどアクセスできない」とは具体的に何を指しているのか。